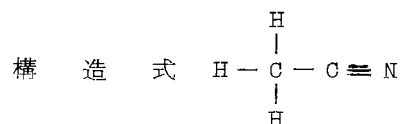


# アセトニトリルの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和50年2月13日～昭和50年3月14日

2. 試料名 アセトニトリル (試料No K-90)

分子式  $C_2H_3N$



3. 試験方法及び条件 環 保 業 第 5 号 } 微生物等による  
薬 発 第 6 / 5 号 } 化学物質の  
49基局第392号 } 分解度試験による  
ただし 試験期間 3週間

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

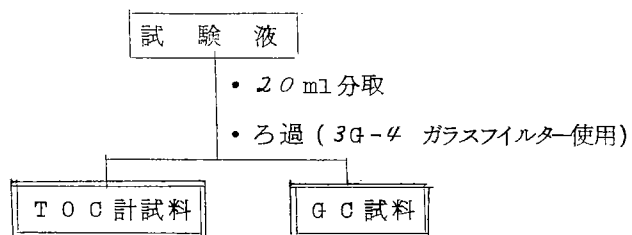
3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

全有機炭素分析計 (T O C 計)

流 速 T O 回路 200 ml/min

温 度 T O 炉 900℃

ガスクロマトグラフ (G C) 検出器 FID

キャリアガス  $N_2$

充てん剤 クロモソルブ 103

ガラスカラム 2mmφ×0.7m

カラム温度 76℃

4. 試験結果

		分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	2週間	28.8	/	—
	3週間	34.5		
T O C 計による結果		89.6	2	1
G C による結果		100.0	3, 4	2

5. その他

汚泥+試料系において、2つの培養びんの間に差があつたこと及び図3が増加の傾向を示していたため試験期間を3週間まで延長した。

以 上